

中央区 SAPPORO

社協 だより

Vol.89
2021.3

Contents | もくじ

- ▶ 中央地区第8町内会
「お手伝いサロン」…………… P2
- ▶ 福まちかわら版「新・福まちスタイル」
「地域の仲間を知ろう！（冊子）」の紹介
…………… P3～4
- ▶ ふれあい・いきいきサロン講座報告・
除雪協力員へのお礼…………… P5
- ▶ 正会員紹介・寄付のお礼…………… P6

届け！ 私たちの思い！

札幌市立伏見小学校は、札幌市福祉協力校事業の「福祉協力校」の指定を受け、社会福祉への関心を深め、地域との関わりをとおして思いやりの心を育むことを目標に、コロナ禍の中でも知恵と工夫を凝らして活動に取り組んでいます。



- ▲ビデオメッセージを届けよう！
歌、踊り、楽器演奏…笑顔になってもらうには
どんなビデオにしたらいい？
- ◀千羽鶴を作りました。喜んでくれるかな？

地域の高齢者へ 心を込めてメッセージ

毎年、ご近所のグループホーム等4施設を訪問して交流活動をしています。コロナウイルス感染症の影響で、直接訪問することは叶いませんでした。それでも「おじいちゃん、おばあちゃんに喜んでもらいたい」「笑顔を届けたい」といろいろ企画しました。

自分たちのまちをきれいに！ 近所の公園清掃

普段、地域の方がごみ拾いをしてくれているのを見て、「私たちが使う公園だから自分たちでもきれいにしたい」と、公園清掃に取り組みました。



「砂場は小さい子どもが使うので、ガラスとかが混じっていたら大変。使う人の立場になってきれいにしよう！」





高齢者の皆さんが住み慣れた地域で暮らし続けられるように、住民の方々が中心となって活動する支え合いの仕組みづくり、支え上手・支えられ上手の地域づくりを推進しています。これまで関わってきた町内会での取り組みについてご紹介いたします。

中央地区 第8町内会 ～お手伝いサロン～

植物園のそばにある3つのマンションで構成される町内会、マンションの1室が活動の拠点となっています。この部屋で月2～3回ふれあい・いきいきサロンも開かれています。サロンは話題のニュースや様々な知識を楽しく学ぶ機会であり、手作りの昼ご飯も一緒に食べ、おしゃべりを楽しめる地域の「居場所」のような存在となっています。集う回数が多くなっていく中、参加者それぞれに得意なこと、誰かのために手伝えることがあるとわかってきました。そこで、社協と一緒にアンケートを行い、「ご近所のためにしていること、手伝えること」「地域で活かすことのできる特技や趣味」などを聞いてみたところ、何人もの方から「手伝える」という回答が出てきました。同時に、「手伝って欲しいこと」も質問し、部屋の掃除や片付け、簡単な修理や電球交換、という項目で支えが必要な方が住んでいることもわかりました。

この結果をきっかけに、町内会として、ちょっとした困りごとなら手伝い、お互いに助け合えるようにしていこうと、「お手伝いサロン」が誕生したのです。お手伝いサロンに困りごとを相談してもらい、協力できるメンバーがお手伝いをするという仕組みです。実際には、なかなか相談が寄せられることはありませんでしたが、月に1回は協力メンバーが集まり、活動に備えて勉強会をしたり、食事

づくりに苦勞している方にご飯を提供する「ランチサロン」を企画したりしました。そして、この活動を始めて1年くらい経った頃、病院の付添いの依頼が入り、協力メンバーがお手伝いに行きました。

少しずつ、町内会でお手伝いするという仕組みが形作られてきましたが、新型コロナウイルス感染症は、この活動にも影を落としました。しかし、動き始めた活動、そしてみなさんの思いは、一度は止まりつつも、再始動しました。

「自分たちもコロナで苦勞したのだから、もっと困っている人もいるはず」と、改めてアンケートを行うこととしました。今、自分たちに何が出来るか、もう一度見直し始めているところです。この「自分の町内会をもっと住みやすくする」行動こそ、これからの地域に求められています。そして、私たち社協、生活支援コーディネーターはこの活動を支え、応援していきます。



▲関係機関と一緒に話し合うこともあります

アンケートとあわせて、
改めて「お手伝いサロン」を
PRしました

**第8町内会
お手伝いサロン**

◆アンケートにご協力ください
今までにこのような依頼に
応えてきました！

歩行が不安定だから、
通院に付き添ってもらったの！

あまり買い物に行け
ないので簡単に食べ
られるものを買って
きてもらえないかな？

依頼があればサロン
開催都度話し合いを
しています。

**第8町内会
お手伝いサロン**

Q & A

【お手伝いできること】

- お話し相手
- 買い物付き添い
- 通院付き添い
- 葉の受け取り
- 図書館で借りた本の受取、返却
- パソコン作業
(デジカメ画像の整理など)

Q: 「お手伝いできること」以外はお手伝ってもらえないの？
A: ご相談ください。
お手伝いサロンの参加者で話し合います。

Q: 誰がお手伝いしてくれるの？
A: 第8町内会の有志の方々です。

Q: いくらかかるの？
A: お手伝いそのものは無料ですが、お手伝い時に必要な
物品や交通費は実費額を負担していただきます。

気になる方へは単にポストに投函するだけでなく、訪問して状況を確認しました。この訪問では、久しぶりに誰かと会話ができたことで、今抱えている不安を口にすることも少なくありませんでした。



福祉のまち推進事業は、「住み慣れた家で安心して、ずっと暮らしたい」というみんなの願いをみんなで支える事業です。

近年の社会環境、世帯状況の変化に伴い、地域における人間関係の希薄化が進み、コロナ禍においてさらに社会的孤立が大きな問題となっています。今まで以上に身近な地域での、見守りや支え合い活動が必要になってきています。

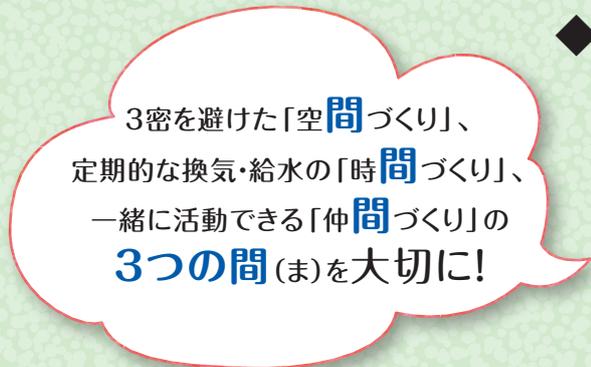
そのため、各連合町内会単位に設置されている地区福祉のまち推進センター（以下「地区福まち」）では、住民同士の支え合い活動を広げていくために、さまざまな取り組みを行っています。

「新・福まちスタイル」～コロナ禍での活動の参考に～

新型コロナウイルス感染症の拡大で、いわゆる「3密（密集・密接・密閉）」の回避など、「新しい生活様式」を意識した生活が求められています。

福まちとして、感染予防や活動者の健康管理に留意しながらも、地域のつながりを絶やさない取り組みを進めるために、当面の間の活動のポイントとして札幌市社協では「新・福まちスタイル」を作成しましたので、その一部をご紹介します。

コロナ禍での福まち活動の参考にいただければ幸いです。



◆新・福まちスタイル スローガン

- ふ** れあいの気持ちを絶やさず
- く** ふうした活動で
- ま** を大切に
- ち** ゃんと予防してつながろう

一人ひとりの感染対策

①身体距離の確保

②マスクの着用

マスクをしよう

③手洗い

手を洗おう

◆できることから少しずつ…感染対策しながらつながろう!

<p>①電話でつながろう</p> <p>会話することだけで、閉じこもりがちな生活の中で「誰かが気にかけてくれる」「つながっている」という安心感につながります。</p> <p>これまでの活動を通じて気になっている方とつながり、困りごとを抱えているような場合は、専門機関につなぎましょう。</p>	<p>②手紙・届け物でつながろう</p> <p>手紙やメッセージカード、チラシなどの配布を通じてつながりましょう。</p> <p>接触を避けて郵送したり、活動者の運動も兼ねて散歩がてらポストインするなど方法は様々です。また、ポストインの際には、インターホン越しに安否確認することが効果的と考えられます。</p>
<p>③ICT（情報通信技術）でつながろう</p> <p>メールやLINE（無料メッセージアプリ）などを利用することで、コミュニケーションの幅が広がります。</p> <p>活動者間のやりとりなど、今だからこそ新たな可能性に挑戦してみてもいいでしょう。</p>	<p>④できることをシェアしよう</p> <p>みなさんが自宅で楽しく過ごすために工夫していることを紹介したり、手芸が得意な人は、マスクを手作りして配布してみたり、今できること、やっていることをみんなと共有して、楽しみながらつながりましょう。</p>

「地域の仲間を知ろう！」 区福まちで冊子を作成しました

中央区福祉のまち推進事業の取り組みとして、区内の地区福まち活動にかかわる課題やニーズ等の解決に向け、毎年開催していた研修会ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、多くの方が集まる形の研修会は中止し、福まち活動で活用していただける冊子を作成しました。

この冊子では、同じ地域に住む仲間であり、地域活動の担い手としても様々な場面で活躍される障がいのある方や認知症の方をサポートしている団体について紹介しています。

たくさんの「力」がつながることで、地域の支え合いがより強力になっていく、そんな場面を皆様にお伝えしたいという思いを込めました。

各地区への納品は3月末頃を予定しておりますので、今後の活動の参考にご覧ください！



▲「地域の仲間を知ろう！」表紙



▲社会福祉法人あむ 活動事例より
～福祉除雪 活動中の一コマ～

私たちも地域で活躍中『アトリエポトス』



▲革製のマスクケース、マスクチャームは、「おしゃれ!」と評判です

特定非営利活動法人ポトス会が運営しているアトリエポトス（就労継続支援 B型事業所）では、手工芸品（皮革製品・押し花製品）などを製作しています。

いつもは、地域のイベントやバザー会場などで販売をしていますが、コロナ禍の中では、残念ながら、その機会もなくなってしまいました。事業所での販売は行っておりますので、是非、お立ち寄りいただき、私たちの作品を手にとり頂けると嬉しいです。

マスク生活が日常となっている今、マスクケースやマスクチャームも好評販売中です！

特定非営利活動法人ポトス会 アトリエポトス

中央区南2条西20丁目2番1号 ワコービル4階

TEL 011-616-0933

コロナに
負けない!

新たな“サロン”のために

～ふれあい・いきいきサロン講座～

中央区でふれあい・いきいきサロン活動をされている方、そしてサロン活動に関心のある方を対象に、令和2年の11月5日にサロン講座を開催しました。

約1年前から広がりを見せた新型コロナウイルス感染症は、外出や交流の自粛などが続き、「集まることが大切」なサロン活動にも大きな影響を及ぼしています。

感染への不安は継続している状況ではありますが、「サロンでどのように感染対策をしたらよいだろうか」という声もあり、講座では「コロナウイルスの正しい予防法～ポイントは自分の手～」をテーマに、感染管理認定看護師(ちば内科・消化器内科看護師)・伊藤幸咲様にご講話いただきました。

伊藤先生からは、サロンのように人の集まる場所では換気をし、空気の流れを作ることでウイルスの滞留を防ぐことが、感染対策として重要なポイントの一つであることなどをわかりやすく説明いただきました。さらに、外から入ってきた時、食べ物を食べる前に大切な手指消毒については、正しい方法を、実際にアルコール消毒液等を使い参加者全員で実践しました。



コロナ禍でのサロン参加者との関わり方

令和2年8月に実施したサロンへのアンケートでは、それぞれに工夫して「つながり」を続けていることがわかりました。

- ・電話、メールで連絡
- ・マスク付きの手紙を送付
- ・往復はがきを送付し返信をもらった
- ・参加者が目にする掲示板上に、家でできる作業を提案
- ・(密にならないように)花壇整備作業や遠足、ウォーキング等外での活動を取り入れた

福祉除雪協力員の皆さま ありがとうございました!



社会福祉協議会では冬期間、高齢や障がいのため、除雪ができない戸建ての世帯を対象に、道路に面した出入り口部分(間口)と玄関先までの通路部分の除雪を行う「福祉除雪事業」を実施しております。今年度は、236世帯の方の除雪に、地域にお住まいの方や団体・企業の方々のご協力いただきました。ありがとうございました。

【団体・企業】

株式会社大庭組様、株式会社公清企業様、舗道工業株式会社様、北津建設株式会社様、山王建設株式会社様、東洋ロードメンテナンス株式会社様、社会福祉法人草の実会リトルローズ様、板谷土建株式会社様、北土建設株式会社様、北関電気工事株式会社様、札幌建設運送株式会社様、特定非営利活動法人ライツ様、株式会社南香園様、Dreamer(ドリーマー)様、誠興電機産業株式会社様、大同舗道株式会社様、大和開発工業株式会社様、合同会社 CROSS GROUP 若濱工業様、株式会社オープンウェイ様、生活介護事業所びーと様、株式会社ゆれるは様、株式会社 JDC 様、NPO 法人北海道生涯教育総合研究センター様(登録順)

【地域の皆様】

東地区の皆様、西創成地区の皆様、曙地区の皆様、山鼻地区の皆様、幌西地区の皆様、西地区の皆様、南円山地区の皆様、円山地区の皆様、桑園地区の皆様、宮の森大倉山地区の皆様

社協の新しい正会員
「地域の頼れる味方」をご紹介します!

特別養護老人ホーム あすかHOUSE中央

令和2年の3月31日に定員80人のユニット型として皆さんの地域に仲間入りをした「特別養護老人ホーム あすかHOUSE中央」です。新型コロナウイルスの影響が大きい中で入居者様をゆっくりと受け入れながら新しい生活をスタートして参りました。

1階にはパン工房ASUKAが併設され、札幌中心部の利便性を活かしながら地域の皆様と共に歩むことを夢見ていましたが、このご時世、地域活動に参加することができず、とても残念でなりません。

新型コロナウイルスの影響が落ち着きましたら、ボランティア活動の受け入れや、施設内行事へのご招待、地域活動への参加など企画いたします。入居者様もそんな日が来ることを心待ちにしております。

地域と共に、地域に愛される施設を目指しますので、よろしくお願いいたします。



▲外観



▲ASUKAベーカリー



▲鈴木施設長(中央)

：ご寄付ありがとうございました：

〈令和2年11月～令和3年2月のご寄付〉

11月16日 山口 威様 86,000円

12月25日 匿名様 10,000円

12月30日 チューリッヒ保険会社様 715,000円

1月29日 Zチューリッヒ基金様 715,000円

いただいたご寄付は、中央区内の「ふれあい・いきいきサロン」の支援や、地域福祉活動に活用させていただきます。

個人の方の寄付および賛助会員会費については、寄付金控除として所得控除をすることができます。

